

第44回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年5月17日(金)15:00～16:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：問題解決型コーチングで挑む英語業界の変革と人×テクノロジーによる英語学習の未来
- 招へい者：岡田祥吾(おかだしょうご)株式会社 GRIT 代表取締役社長
- 出席者：平井国務大臣、幸田内閣府審議官、三輪政府CIO、八山参事官(IT)、高田企画官(IT)、信朝CIO補佐官(IT)、池田企画官(科技)、千葉補佐(科技)、奥山補佐(宇宙)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 岡田氏からの説明

- 株式会社 GRIT は、「英語を教えない、英語コーチング」をテーマとし、3か月間という短期間で英語力を上げるコーチングプログラム「PROGRIT(プログリット)」を提供している。英語力の伸びに影響を与える学習生産性と投下時間の関係に着目し、学習者ごとに最適な解決策を提供し、自習を継続させるコーチング及びコンサルティングを行っている。
- 日本人の英語力は他国と比較しても低いこと、また、訪日外国人も日本にいる際にコミュニケーションが困難であると感じていることを踏まえれば、今後は英語学習が重要なインフラ産業となるものと認識。

3. 質疑応答・議論

- 英語はダイエットとは違いスキルを身につけるものであるためにリバウンドもなく、学習の初期は厳しいものの続けると楽しくなるものである、との意見があった。
- 学習者への個別最適化やコーチングの技術については、英語以外にも、学習方法が体系化されているものについては広く適用可能ではないか、との意見があった。
- グローバルな観点でビジネス展開を行うことを考えれば、スタートアップのアクセラレーターとしても英語は重要な位置づけとなる。スタートアップは今後、公用語を英語にする位の意気込みであるべきではないか、との意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)